

研究課題名 広島県在住者における高脂血症、高血圧症、糖尿病および虚血性心疾患の発症機構に関する研究

研究責任者名 米田 真康

研究期間 2011年11月17日（倫理委員会承認後）～2024年3月31日

対象者 生活習慣病健診を受診した20歳以上の広島県在住者

意義・目的

糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病は環境因子と遺伝素因が複雑に相互作用することにより発症します。すなわち、遺伝的にその疾患に罹患しやすい個人が生活習慣の欧米化などに伴い発症すると考えられています。そこで、広島県における生活習慣病健診の受診者を対象とし、生活習慣病関連因子を検討することにより、生活習慣病やその延長線上にある動脈硬化性疾患の発症機構や危険因子の解明を目指したいと思えます。

方法

JA 広島総合病院、グランドタワーメディカルコート、三原市医師会病院が実施している生活習

ください。また、この研究で得た試料や情報は別の研究にて利用する可能性があります。その際は、改めて倫理審査委員会での審査を経た後、使用させていただくことがあることをご了承ください。

写真、生化学検査などの健診データを抽出するとともに、健診時に採取した血液検体の残余を回収